

教科・科目	保健体育・体育①	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	1	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育①				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>				
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）	（放送視聴）			
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）	NHK 高校講座「体育実技」「保健体育」			

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 陸上競技（※） 球技 ダンス（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動 器械運動（※） 球技 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座 前期：「体育実技」第6回＋「保健体育」第7回 後期：「体育実技」第2回＋「保健体育」第8回 別途指示があるものについては、その指示通りにやること
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	メディア 利用(NHK 高校講座)
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日					
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	体づくり運動 卓球①（基本）	前1	1	2	4/19	4/20	—	4/16	体育実技 第6回	
	②	この回は、実施されません。									
	③	卓球② （ラリー）				5/24	5/25	—	5/21		
	④	卓球③ （サービス）				6/7	6/8	—	6/4		
	⑤	卓球④ （ゲーム）				6/21	6/22	—	6/18		
	⑥	卓球⑤ （ゲーム）				7/5	7/6	—	7/2		
	⑦	この回は、実施されません。									
	⑧		合格した放送視聴の記録				教科別質問教室に出席した日				
試験	卓球 実技試験		本 試 験		追 再 試	8/23	8/24	—	8/27		
後期	⑨	この回は、実施されません。									
	⑩	体づくり運動 ソフトバレーボール① （ボールコントロール）	後1	1	2	10/25	10/26	—	10/22		
	⑪	ソフトバレーボール② （パス）				11/8	11/9	—	11/12		
	⑫	ソフトバレーボール③ （パス等）				11/22	11/16	—	11/19		
	⑬	ソフトバレーボール④ （ミニゲーム）				12/6	12/7	—	12/3		
	⑭	この回は、実施されません。									
	⑮	ソフトバレーボール⑤ （ゲーム）				1/10	1/18	—	1/7		
	⑯	この回は、実施されません。									
試験	ソフトバレーボール 実技試験		本 試 験		追 再 試	2/7	2/8	—	2/4		

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・体育②	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育②				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>				
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）	（放送視聴）			
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）	NHK 高校講座「体育実技」「保健体育」			

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 球技 水泳（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動 球技 陸上競技（※） 柔道（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座 前期：「体育実技」第4回＋「保健体育」第13回 後期：「体育実技」第3回＋「保健体育」第21回 別途指示があるものについては、その指示通りにやること
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	この回は、実施されません。									
	②	体づくり運動 バドミントン①(基本)	前1	1	2	5/10	—	5/12	5/7		
	③	バドミントン② (ストローク)				5/24	—	5/26	5/21		
	④	バドミントン③ (サーブ)				6/7	—	6/9	6/4		
	⑤	バドミントン④ (ゲーム)				6/21	—	6/23	6/18		
	⑥	バドミントン⑤ (ゲーム)				7/5	—	7/7	7/2		
	⑦	この回は、実施されません。									
	⑧			合格した放送視聴の記録			教科別質問教室に出席した日				
	試験	バドミントン 実技試験		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨	体づくり運動 フットサル①(基本)	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/8		
	⑩	この回は、実施されません。									
	⑪	フットサル② (パス&ドリブル)				11/8	—	11/10	11/12		
	⑫	フットサル③ (パス&シュート)				11/22	—	11/24	11/19		
	⑬	フットサル④ (ミニゲーム)				12/6	—	12/8	12/3		
	⑭	フットサル⑤ (ミニゲーム)				12/20	—	12/22	12/17		
	⑮	この回は、実施されません。									
	⑯			合格した放送視聴の記録			教科別質問教室に出席した日				
	試験	フットサル 実技試験		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・体育③	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育③				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>				
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）	（放送視聴）			
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）	NHK 高校講座「体育実技」「保健体育」			

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 陸上競技（※） 球技 剣道（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動 器械運動（※） 球技 スケート（※） 体育理論（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。	
	放送視聴について	各期2回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座 前期：「体育実技」第8回＋「保健体育」第27回 後期：「体育実技」第10回＋「保健体育」第28回 別途指示があるものについては、その指示通りにやること
	教科別質問教室について	各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者	先生				登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S			
前期	① 体づくり運動 ショートテニス① (ボールコントロール)	前1	1		2		4/19	—	4/21	4/23	
	3			4							
	② ショートテニス② (ストローク)					5/10	—	5/12	5/14		
	③ ショートテニス③ (ラリー、サービス)					5/24	—	5/26	5/28		
	④ ショートテニス④ (ラリー、スマッシュ)					6/7	—	6/9	6/11		
	⑤ ショートテニス⑤ (ゲーム)					6/21	—	6/23	6/25		
	⑥ ショートテニス⑥ (ゲーム)					7/5	—	7/7	7/9		
	⑦										
⑧	この回は、実施されません。	合格した放送視聴の記録				教科別質問教室に出席した日					
試験	ショートテニス 実技試験		本試験		追再試		8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨ 体づくり運動 バレーボール① (ボールコントロール)	後1	1		2		10/11	—	10/13	10/15	
	3			4							
	⑩	この回は、実施されません。									
	⑪ バレーボール② (パス)						11/8	—	11/10	11/5	
	⑫ バレーボール③ (パス、サービス)						11/22	—	11/24	11/26	
	⑬ バレーボール④ (パス、スパイク)						12/6	—	12/8	12/10	
	⑭ バレーボール⑤ (ゲーム)						12/20	—	12/22	12/24	
	⑮ バレーボール⑥ (ゲーム)						1/10	—	1/12	1/14	
⑯	この回は、実施されません。	合格した放送視聴の記録				教科別質問教室に出席した日					
試験	バレーボール 実技試験		本試験		追再試		2/7	—	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・体育④	単位数	2（前期1＋後期1）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：体育④				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付ける。</p>				
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）	(放送視聴)			
	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）	NHK 高校講座「体育実技」「保健体育」			

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 球技 アウトドアスポーツ（※） 障がい者スポーツ（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	体づくり運動 器械運動（※） 球技 スキー・スノーボード（※） ※の内容についてはレポートでのみ扱っています	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・観察
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期5回以上、後期5回以上出席すること。
	放送視聴について 各期2回までスクーリング回数を免除することができる。（視聴2回で1回分） NHK 高校講座 前期「体育実技」第5回＋「保健体育」第38回 後期「体育実技」第7回＋「保健体育」第29回 別途指示があるものについては、その指示通りにやること
	教科別質問教室について 各期2回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日				メディア 利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 体づくり運動 バスケットボール① (ボールコントロール)	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/23	体育実技 第5回		
	3		4								
	② バスケットボール② (ドリブル、シュート)				5/10	—	5/12	5/14			
	③ バスケットボール③ (パス、シュート)				5/24	—	5/26	5/28			
	④ バスケットボール④ (ドリブル、パス、シュート)				6/7	—	6/9	6/11			
	⑤ バスケットボール⑤ (ミニゲーム)				6/21	—	6/23	6/25			
	⑥ バスケットボール⑥ (ゲーム)				7/5	—	7/7	7/9			
	⑦										
⑧	この回は、実施されません。	合格した放送視聴の記録				教科別質問教室に出席した日					
試験	バスケットボール 実技試験		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨ 体づくり運動 ティーボール① (スロー、キャッチ)	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/15	体育実技 第7回		
	3		4								
	⑩ ティーボール② (キャッチ、バッティング)				10/25	—	10/27	10/29			
	⑪ ティーボール③ (ゲーム)				11/8	—	11/10	11/5			
	⑫ アルティメット① (スロー、キャッチ)				11/22	—	11/24	11/26			
	⑬ アルティメット② (ミニゲーム)				12/6	—	12/8	12/10			
	⑭ アルティメット③ (ゲーム)				12/20	—	12/22	12/24			
	⑮										
⑯	この回は、実施されません。	合格した放送視聴の記録				教科別質問教室に出席した日					
試験	筆記試験レポート後1の内容 スクーリング⑨～⑭の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

スクーリングには、必ず指定の体操服・体育館シューズで出席してください。なお、病気やケガ等で長期的に実技ができない時は、早めに教科担当者へ相談してください。勝敗や出来栄を競ったり、ハードなトレーニングをしたりすることだけが運動ではありません。運動の仕方や大切さ、何より心地よさを体育の学習を通して、実感していきましょう。

教科・科目	保健体育・保健①	単位数	1（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：保健①				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	現代社会と健康 安全な社会生活	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	現代社会と健康 安全な社会生活	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、1回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～3回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

スクーリング回数		添削担当者	先生				登録	メディア利用(NHK 高校講座)		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				
		回	提出日・合格			日S	月S		火S	木S
前期	①	この回は、実施されません。								
	②	現代社会と健康 健康について	前1	1	2	5/10	5/11	—	5/7	保健体育 第1-5回 9-12回 15-17回
				3	4					
			前2	1	2					
				3	4					
	③									
	④	この回は、実施されません。								
	⑤									
⑥										
⑦	安全な社会生活 心肺蘇生法	前3	1	2	7/19	7/13	—	7/16	保健体育 第18/19 22-26回	
3			4							
⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前3の内容		本試験	追再試	8/23	8/24	—	8/27		
後期	⑨	後1	1	2	10/11	10/19	—	10/8	保健体育 第1-5回 9-12回 15-17回	
			3	4						
		後2	1	2						
			3	4						
	⑩									
	⑪	この回は、実施されません。								
	⑫									
	⑬									
⑭	安全な社会生活 心肺蘇生法	後3	1	2	12/20	12/21	—	12/17	保健体育 第18/19 22-26回	
3			4							
⑮	この回は、実施されません。									
⑯										
試験	レポート後1～後3の内容		本試験	追再試	2/7	2/8	—	2/4		

6 先生からのメッセージ

保健は、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で、中心的な役割を担う科目です。学習内容を基に、日常生活の中で課題を解決したり、健康的な生活を実践したりできるようになることを目指します。レポートは教科書を見ればできるように作成していますので、最後まであきらめずに取り組んでください。自分や家族、友人など身近な人々の生活と関連付けながら、学習を進めていきましょう。

教科・科目	保健体育・保健②	単位数	1 (前期又は後期)		
		ライン	2	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：保健②				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	生涯を通じる健康 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	生涯を通じる健康 社会生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件 (次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。)

スクーリング	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回～3 回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期 (前期又は後期) に、1 回合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者	先生				登録				
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 医薬品とその活用	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/16	保健体育 第30-34 回	
			3		4						
		前2	1		2						
			3		4						
	②	この回は、実施されません。									
	③										
	④										
⑤	この回は、実施されません。										
⑥											
⑦	⑦ 社会生活と健康 さまざまな環境問題 等	前3	1		2	7/19	—	7/21	7/16	第35-37, 39-42回	
3				4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前3の内容		本試験		追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨	この回は、実施されません。									
	⑩ 生涯を通じる健康 妊娠・出産と健康 医薬品とその活用	後1	1		2	10/25	—	10/27	10/22	保健体育 第30-34 回	
			3		4						
		後2	1		2						
			3		4						
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫										
⑬											
⑭	この回は、実施されません。										
⑮										⑮ 社会生活と健康 さまざまな環境問題 等	後3
3		4									
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後3の内容		本試験		追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

保健は、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で、中心的な役割を担う科目です。学習内容を基に、日常生活の中で課題を解決したり、健康的な生活を実践したりできるようになることを目指します。レポートは教科書を見ればできるように作成していますので、最後まであきらめずに取り組んでください。自分や家族、友人など身近な人々の生活と関連付けながら、学習を進めていきましょう。